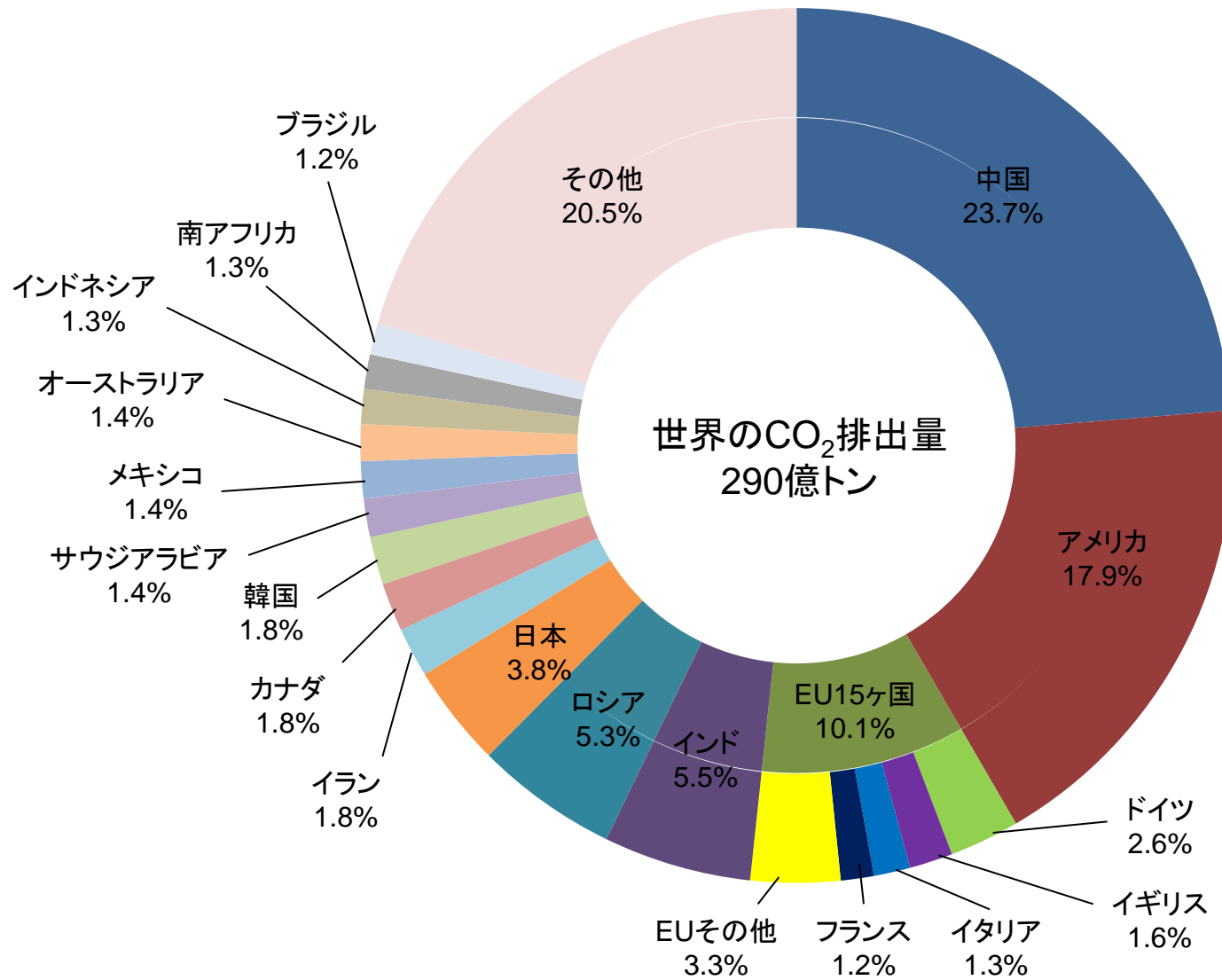
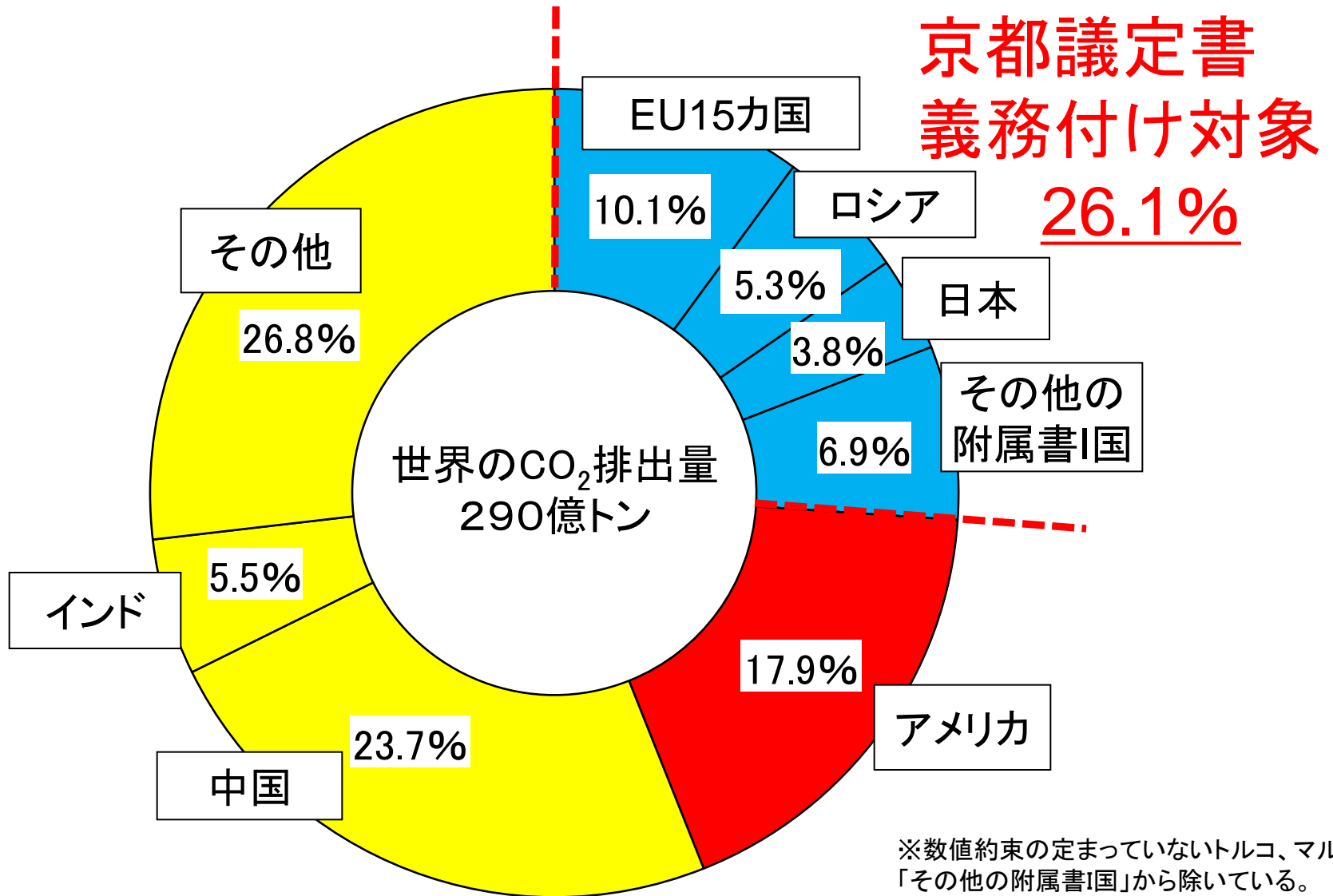


世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)

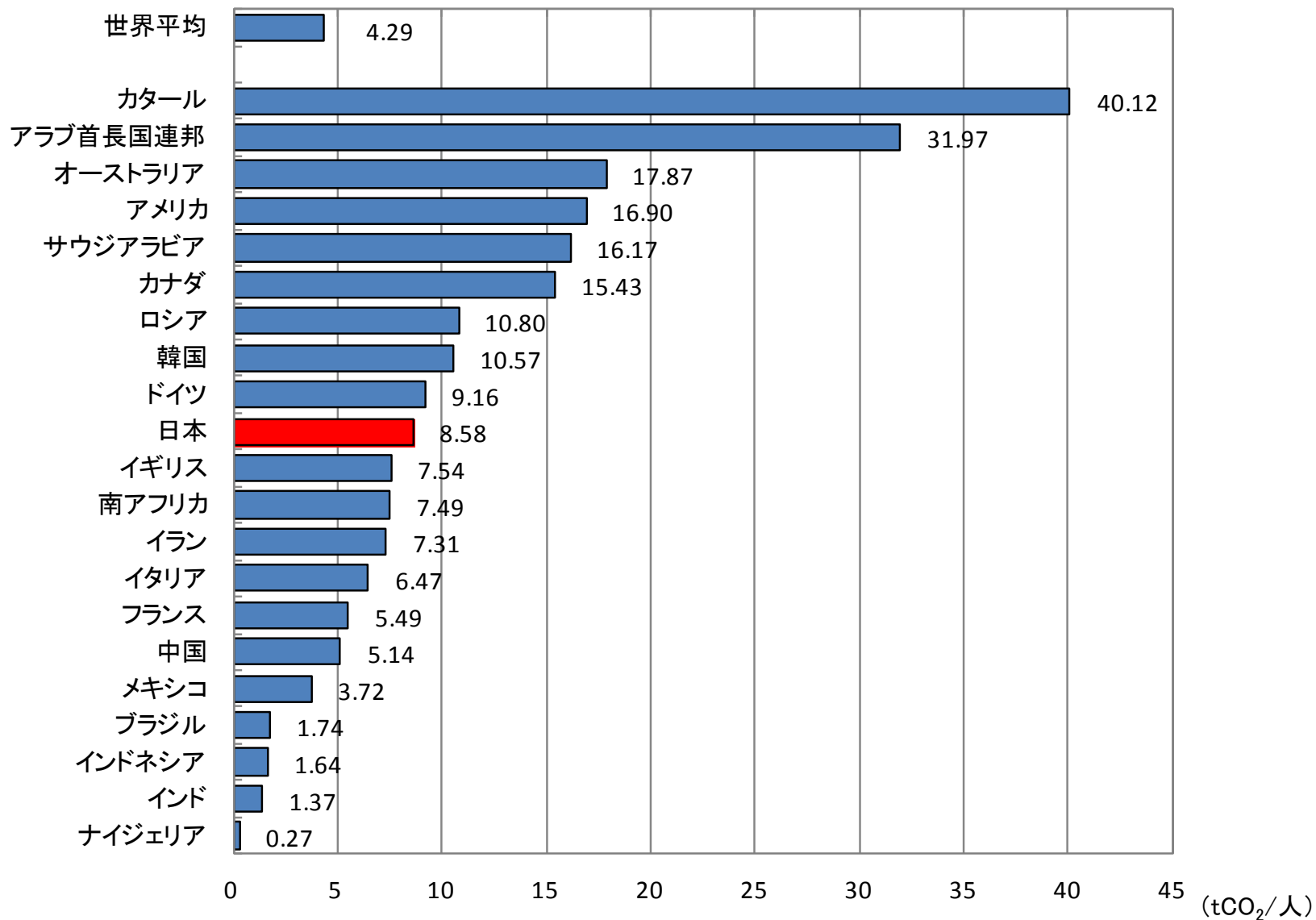


※ EU15ヶ国は、COP3(京都会議)開催時点での加盟国数である。

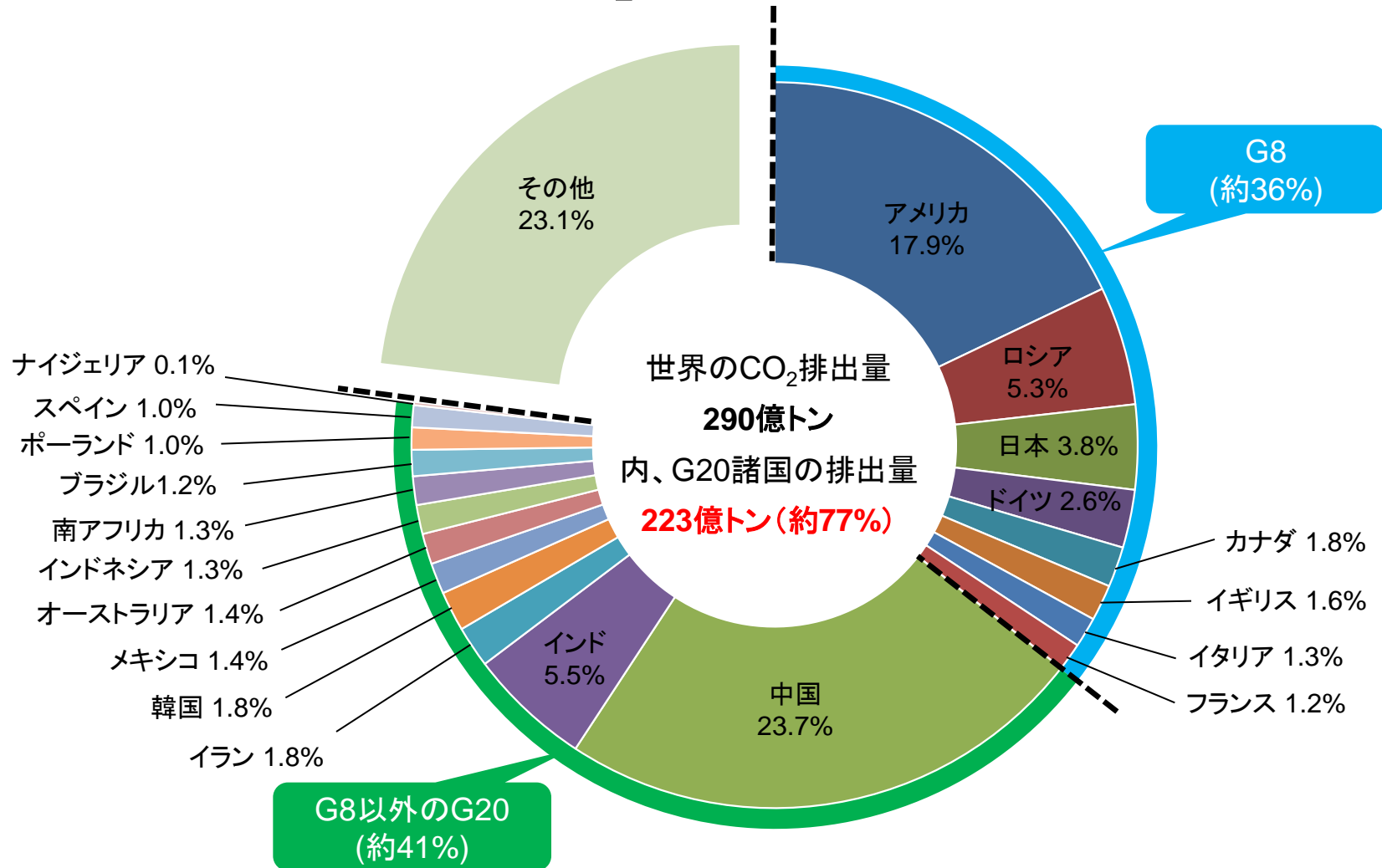
世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)
に占める京都議定書義務付け対象の割合



国別一人当たりエネルギー起源CO₂排出量(2009年)



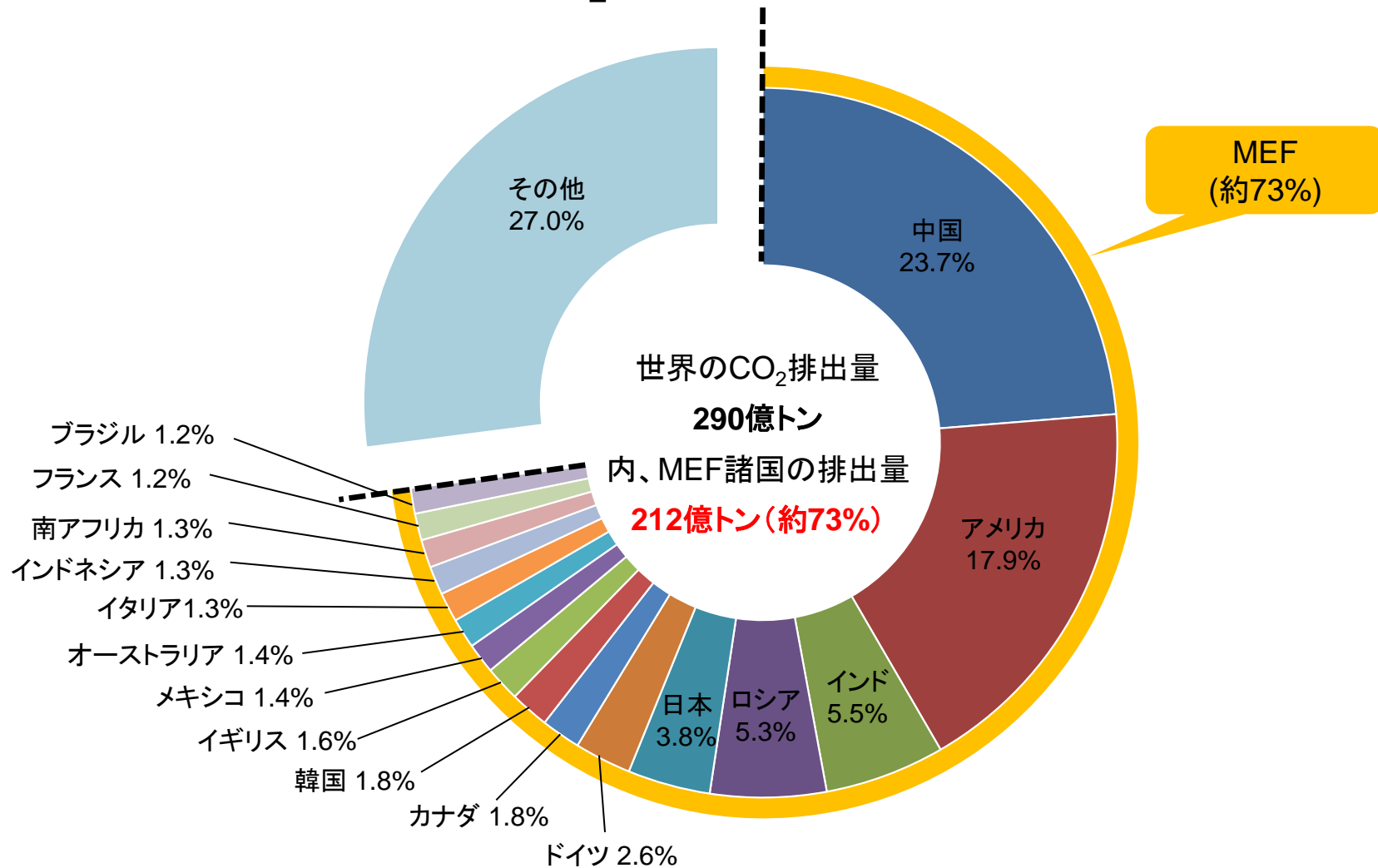
世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)に占めるG20諸国の割合



G20(気候変動、クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話)諸国								
G8	アメリカ	ロシア	日本	ドイツ	カナダ	イギリス	イタリア	フランス
その他	中国	インド	イラン	韓国	メキシコ	オーストラリア	インドネシア	ブラジル
	南アフリカ	スペイン	ポーランド	ナイジェリア				

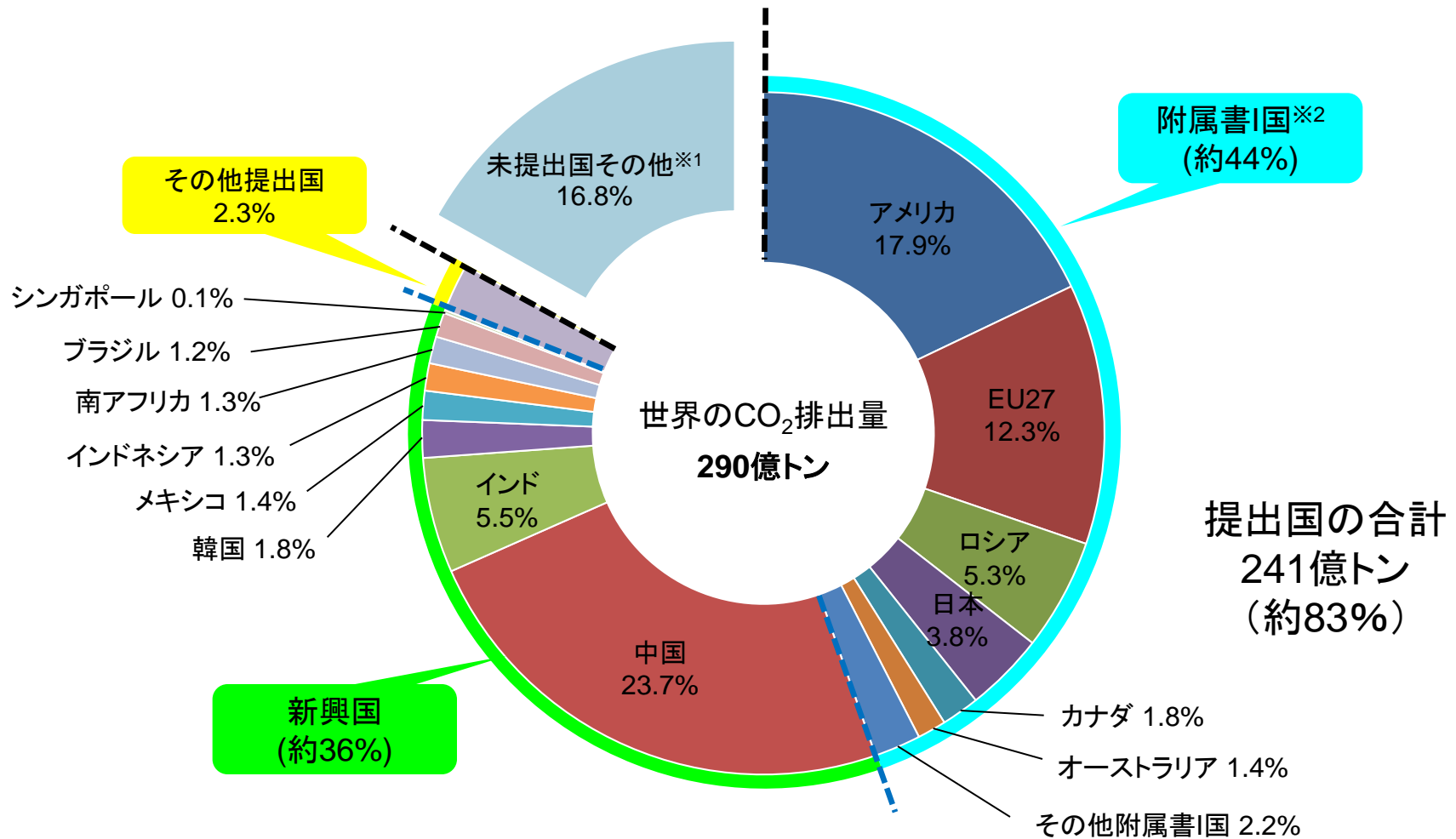
出典: IEA「CO2 EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2011 EDITIONを元に環境省作成

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)に占めるMEF諸国の割合



MEF(エネルギーと気候に関する主要国経済フォーラム)諸国								
MEF (16ヶ国)	中国	アメリカ	ロシア	インド	日本	ドイツ	カナダ	イギリス
	韓国	イタリア	メキシコ	オーストラリア	インドネシア	フランス	ブラジル	南アフリカ

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)に占める カンクン合意後に緩和目標・行動を提出した国の割合

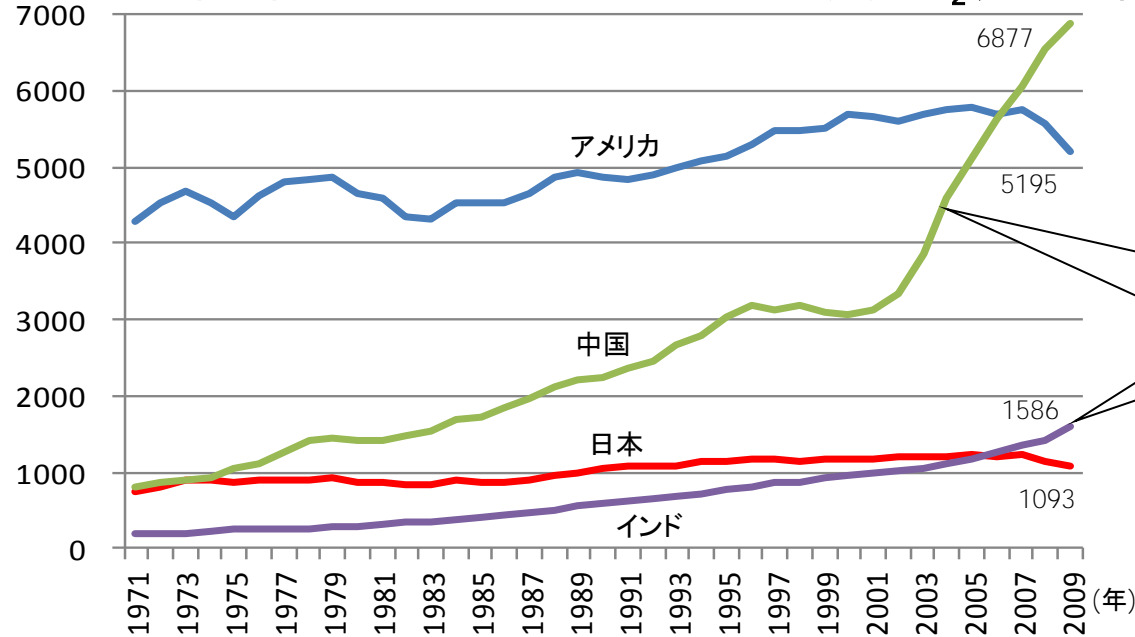


※1 カンクン合意後に緩和目標・行動を提出しているが、IEAにおいて個別の値は掲載されていない国は、「未提出国その他」に含まれている。

※2 カザフスタン及びEU27に含まれるキプロス、マルタは含まれているが、未提出であるトルコは含まれていない。

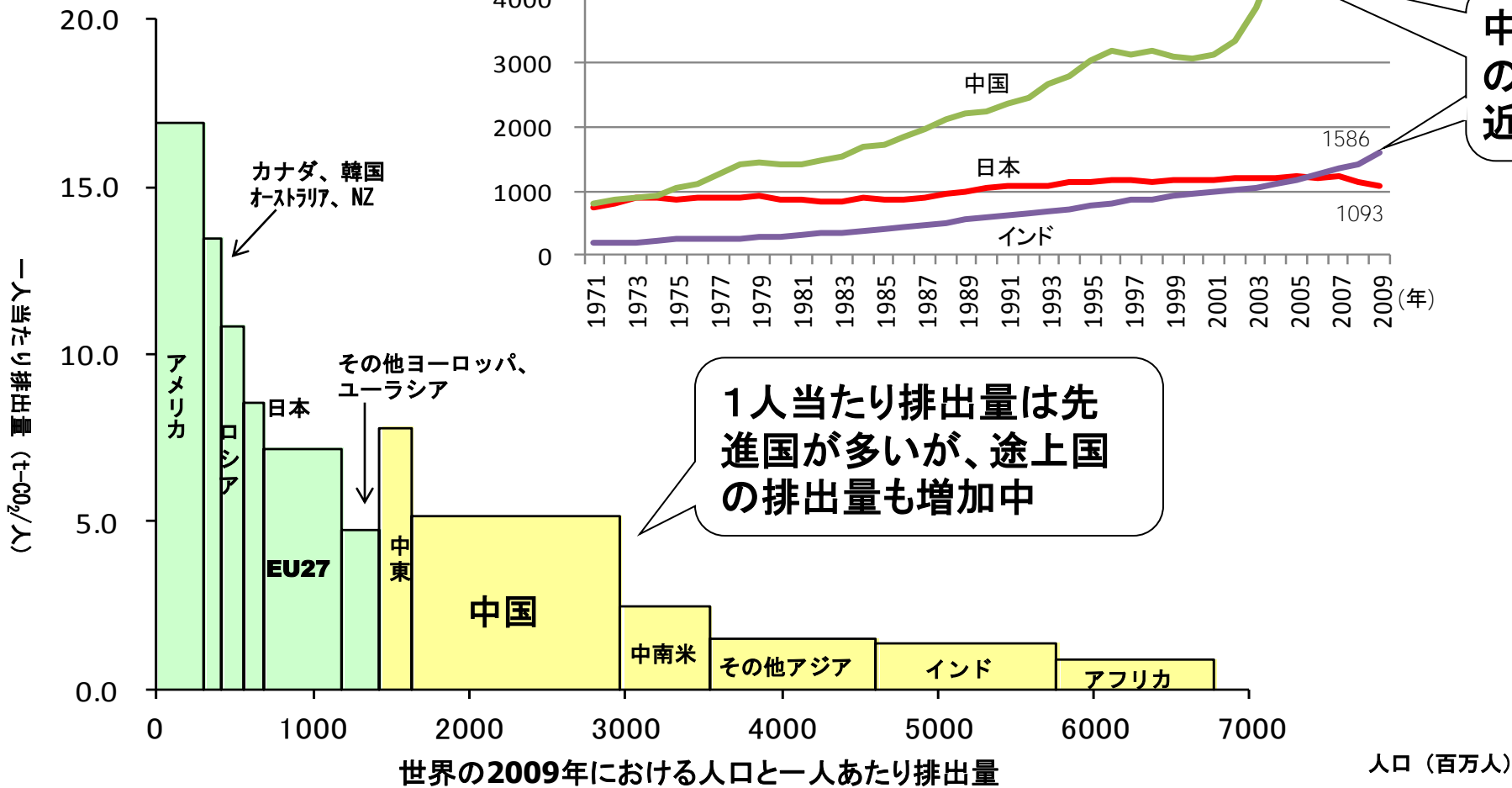
世界のCO₂排出状況(2009年)

(Mt-CO₂) 日本・中国・アメリカ・インドにおけるエネルギー起源CO₂排出量の推移



中国・インドの排出量は近年増加中

1人当たり排出量は先進国が多いが、途上国の排出量も増加中



出典: IEA「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2011 EDITIONを元に環境省作成